

聖地・霊場のはじまり

— 地域社会との関わり

2024

7月20日 土

13:30 ~ 15:30

事前申込制 (先着順)

7/2 (火) ~ 7/12 (金)



骨寺村莊園中尊寺米納めの様子

かつて地域の各地に、人々が特別な想いを抱く空間—聖地や霊場—がありました。これらは出発点は同じでも、その後の経緯はさまざまです。

今回は中尊寺経蔵別当領骨寺村を山形県の立石寺などと比較しつつ、両者の明暗を分けた背景や、周辺地域にとっての聖地・霊場について考えます。



講師

岡陽一郎氏

東北芸術工科大学
芸術学部歴史遺産学科
准教授

昭和43 (1968) 年、栃木県生まれ。青山学院大学大学院文学研究科博士後期課程卒業 (博士 歴史学)。専門は日本中世史。主な研究分野は交通史・武士論・地域史・村落史。

最近の著作 『大道 鎌倉時代の幹線道路』
(歴史文化ライブラリー481、
吉川弘文館、2019)



●お申し込みはQRまたはHPから ●会場：山形県立博物館 講堂

●申し込み期間：7/2 (火) ~ 7/12 (金) ●参加費無料

お問い合わせ：山形県立博物館 講座担当係 TEL：023 - 645 - 1111